

シンポジウム

「風力発電による健康被害者の生の声を聞く」

原発には放射線という超危険なデメリットがあり、火発に地球温暖化、太陽光には有害廃棄物があるように、風力発電にも大きなデメリットがあります。風力発電のデメリットについて、よく知り、深く考えましょう。多くの方々のご参加を願っています。

日時：2016年9月17日(土)13:00～17:00

会場：北海学園大学豊平校舎7号館3F D-30教室(地下鉄東豊線「学園前」駅下車)

資料代：500円

プログラム

1. 風力発電事業の大きなデメリット・・・**武田恵世氏**
(著書：風力発電の不都合な真実－風力発電は本当に環境にやさしいか?)
2. 眠ることができない健康被害の酷さ・・・**谷口愛子氏**(和歌山県由良町民)
3. 地元からの報告(**安田秀子・猿子正彦・山田大邦・後藤言行・市川守弘**の各氏)
4. 総合討論(司会：**佐藤謙氏**)

主催：風力発電による健康被害者の生の声を聴くシンポジウム実行委員会

問合せ：一般社団法人 北海道自然保護協会

Tel: 011-251-5465; Fax: 011-211-8465; Eメール: info@nc-hokkaido.or.jp

「風力発電による健康被害者の生の声を聞く」緊急シンポジウム

シンポジウム内容

(1) 開会挨拶：13:00～13:05

在田一則（北海道自然保護協会会長）

(2) 基調講演1：13:05～14:05（1時間）

武田恵世氏（三重県伊賀市）「風力発電事業の大きなデメリット」

(3) 基調講演2：14:05～14:35（30分=DVD映写15分+15分のお話）

谷口愛子氏（和歌山県由良町）「眠ることができない健康被害の酷さ」

=10分休憩=

(4) 地元からの報告：14:45～16:00（5人各15分）

安田秀子氏（石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表） 「石狩湾岸の風力発電問題」

猿子正彦氏（日本野鳥の会札幌支部副支部長） 「野鳥たちは石狩が大好き」

山田大邦氏（日本科学者会議北海道支部） 「石狩市における健康被害」

後藤言行氏（銭函海岸の自然を守る会代表） 「石狩湾洋上風車の影響の及ぶ範囲」

市川守弘氏（弁護士）

「Environmental Justice（環境における正義）と風車、157人が公害調停申し立て」

=10分休憩=

(5) 総合討論：16:10～16:55

基調講演者2人と地元報告者5人が登壇、来場者を含んで総合討論を行う。司会:佐藤謙

(6) 閉会挨拶（佐藤謙）：まとめ。17:05には終了。

主催者：風力発電による健康被害者の生の声を聴くシンポジウム実行委員会

（一般社団法人北海道自然保護協会・石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会・銭函海岸の自然を守る会）